

Japanese B – Higher level – Paper 1
Japonais B – Niveau supérieur – Épreuve 1
Japonés B – Nivel superior – Prueba 1

Friday 4 November 2016 (afternoon)
Vendredi 4 novembre 2016 (après-midi)
Viernes 4 de noviembre de 2016 (tarde)

1 h 30 m

Text booklet – Instructions to candidates

- Do not open this booklet until instructed to do so.
- This booklet contains all of the texts required for paper 1.
- Answer the questions in the question and answer booklet provided.

Livret de textes – Instructions destinées aux candidats

- N'ouvrez pas ce livret avant d'y être autorisé(e).
- Ce livret contient tous les textes nécessaires à l'épreuve 1.
- Répondez à toutes les questions dans le livret de questions et réponses fourni.

Cuaderno de textos – Instrucciones para los alumnos

- No abra este cuaderno hasta que se lo autoricen.
- Este cuaderno contiene todos los textos para la prueba 1.
- Conteste todas las preguntas en el cuaderno de preguntas y respuestas.

問題 A

考えよう！ 教育の大切さ

2014 年のノーベル平和賞は、子どもの教育の権利をうったえたパキスタンのマララさんと、子どもの労働をなくそうと取り組んでいるインドのカイラシュさんにおくられました。教育には、どのような意味があるのでしょうか。『マララ 教育のために立ち上がり、世界を変えた少女』の日本語訳をした道傳愛子さんにお話をききました。

「私は以前、バングラデシュで昼間は働いて、夕方から学校に通う子どもたちに出会ったことがあります。長い時間働いて疲れているはずなのに、とても熱心に勉強していました。みなさんも、いっしょうけんめい勉強して世の中を良くするために自分ができる事は何かをぜひ考えてみてください。」

これを機会に、教育の意味を考えさせる本を2さつ しょうかいします。

そのこ

詩 谷川俊太郎
絵 塚本やすし



「ぼくは しつてる
ぼくが ともだちと
そのこが ひとりでは
はたらいているとき
あそんでいるとき
はたらいているのを」

「そのこ」は、日本の私たちがおやつに食べるチョコレートのもとカカオまめを、朝から晩まで作っているのです。同じ地球に生きる子どもだけけれど、「そのこ」は お金をかせぎ、「ぼく」は大人がかせいだ お金でゲームを買います。日本から遠く はなれたガーナで、学校に行けずに働き続ける子どもがいることを、詩と力強い絵で伝えます。

ぼくたちはなぜ、学校へ行くのか。

著 石井光太



みなさんは、何のために学校に行っていますか。勉強するため、友だちと遊ぶため …… たくさんの理由があるでしょう。この本の著者は世界 100 か国以上をおとずれ、子どもたちの問題を見てきました。そして、自分の考えをまとめて、メッセージを送ります。

参考：2014 年 11 月 30 日づけ朝日小学生新聞

問題 B

日本の「おいしい」は世界でもおいしい！

日本は食糧しょくりょうをたくさん輸入していますが、その一方で多くの農林水産物のうりんすいさんぶつを輸出していることを知っていましたか。高品質な日本の農林水産物のうりんすいさんぶつは、海外でも高く評価ひょうかされています。



フレンチの世界で「ゆずこしょう」が人気！

「ゆずこしょう」は九州特産の調味料です。最初は国内のフランス料理店やイタリア料理店などでサラダのドレッシングやパスタのソースなどに使われていました。でも、今、その人気は東京の料理店から本場のヨーロッパにも広がっています。

台湾たいわんの健康飲料「長いもジュース」

日本では長いもは生で食べることもありますが、台湾たいわんでは、健康飲料としてジュースにして飲むことがあります。日本では長いもは、しょうゆをかけて食べますが、さとうも意外に合って、ミルクシェイクのような味になります。



「さつまあげ」海外で人気

「さつまあげ」は鹿児島県かごしまのまわりの海でとった魚からしょくざいできている食材です。日本では、おでんなどに入れますが、アメリカにも年間100トン以上輸出されています。その他にも、オーストラリアなどでも売られています。これらの国では、現在アジア人マーケットが中心なので、これから広げていきたいです。



「日本の農林水産物のうりんすいさんぶつに出会って、その価値を理解してくれる人が世界中に増えるのは、うれしいことです。」と、関係者は話していました。

参考 : www.maff.gov.jp (2014)

問題 C

女性が かがやく社会

生徒が最近の政治のできごとについて、先生に質問しています。

Q: 女性の大^{だいじん}臣が増えたと話題になっているよね？

A: 9月の内^{ないかく}閣かいぞうで、前は2人だった女性の大^{だいじん}臣が5人に増えたんだ。

Q: どんな ねらいがあるの？

5 **A:** 首^{しゅしょう}相は「女性が かがやく社会」を実現したいと力を入れていて、まずは内^{ないかく}閣から女性を増やそうとしたんだね。



Q: [-例-]

10 **A:** 実は日本は他の先進国に比べて、男女の格差が大きい国なんだ。男女平等の度合いをしめすランキングで、世界136か国のうち、日本は105位と、まだまだ低いね。だから女性に活^{かつやく}躍してもらおう国にしようってことだよ。

Q: [-21-]

A: 政治家や企^{きぎょう}業のトップに女性が少ないことや、女性がもらう給料が男性に比べて低いことなどが原因だよ。

15 **Q:** [-22-]

A: ニュースになるくらい、まだ珍しい事なんだね。日本は長時間働ける人でないと、一人前の働き手として みとめられない企^{きぎょう}業風土がある。だから、女性が子どもを産んで仕事を続けるのは難しい。一人目の子どもの出産がきっかけで、約半数の女性が仕事をやめているんだ。

20 **Q:** [-23-]

A: 保^{ほいくえん}育園への子どもの むかえや、家事は母親がやることが まだまだ多い。夜遅くまで働けない母親は、仕事を続けることが難しいんだ。それに、仕事をしていても男性に比べて重要な仕事をさせてもらえないという差別的な あつかいもあるんだ。

25

Q: [- 24 -]

A: 日本は長時間労働の慣習かんしゅうがまだ根強ねづよいから、これを変えていかなければならないね。そのためには、女性が社会で活躍かつやくできるように、男性の「家庭進出」も必要だろう。将来は女性も男性も自分らしい生きかたが できる社会にしていくことが大切だよ。

参考 : 2014 年 9 月 21 日づけ朝日小学生新聞

25

「私の連れ合いは、若いとき、戦争にもっていかれて死にました。私は、死んだ三ぞうの身代わりのつもりで、この木を植えて、子ども二人を育てましたが、今はまごたちまで戦争に連れていかれ、生きてもどるやら、死んでもどるやら、分からん。それなのに、おまえさんらは、死んだ人の身代わりまで、戦争にもっていくつもりかね。」

おばあさんは、石のじぞうさんのように、木の下を動きませんでした。

さくらの木は、また、花ざかりとなりました。

「ばかな戦争のおかげで、村一番のさくらの木まで、切られてしまうところだった。」 〈中略〉
風がふくと、花びらが、さくら橋や、川の水の上に飛んでいきました。

来栖良夫 くるすよしお 『村一番のさくらの木』 (一九九七年)

問題 D

村一番のさくらの木

さくらの木は、思う存分えだをのぼして、今年も花をさかせました。

「花の山のように。まったく、村一番のさくらの木だ。」

と、おじいさん、おばあさんたちは言い合いました。

「さくらはさいたけど、いつになったら、戦争が終わるのかねえ。」

お母さんたちは、ためいきをつきました。

また、長い戦争が始まっていたのです。〈中略〉

ある日、自動車が、コンクリートの橋を渡ってやって来ました。りっぱな自動車は、さくらの木の下に止まりました。

「なるほど、大きい木だ。村長に言いつけて、すぐ切らせよう。」〈中略〉

「どんなものでも、戦争の役に立てねばならん。すぐ切りなさい。」

県庁けんちょうの役人は、村長さんに言いつけました。

そのとき、さくらの木の下へ出てきた年よりがありました。一年生のとし子さんのおばあさんでした。

「私の植えた木を、どうして切りなされるかの。やめにしておくんなさい。」

と、おばあさんは言いました。

「なに！」

県庁けんちょうの人たちは、とし子さんのおばあさんをにらみつけました。

「ふねがどんどんしずめられて、へいたいや戦車が運べないんだ。それで、木のふねを作るんだよ。」

〈中略〉

「私は、死んでもこの木は切らせん。」

おばあさんは、かぶりをふりました。

問題 E

きみも小説家になれる？

読書が好きな人なら、一度は考えたことがあるだろう。物語って何だろう？物語を作るには、どうしたらいいの？ヒントは人気作家二人が合作した青春小説の中にあった。その小説は「物語ソフト」を活用しながら書かれたという。

中村：「工学は文学と関係ないジャンルだと思われていますけど、工学部出身の作家は意外と多いんですよ。そういう人たちは、方法を意識していたり、論理的な思考で物語を作ろうとしているんです。できあがったソフトはまだプロトタイプですが、簡単に言うと、小説の組み立てを作るサポートをするんです。ソフトを開発しているとき、中田さんや学生たちと話し合いながら、『自分はどうやって小説を書いているのだろう？』『物語のおもしろさって、何だろう？』と考えていくのが楽しかったんです。」

中田：「今までは物語が書けるソフトがなかったので、二人で作ってみようと思ったんです。だから、研究用のサンプルを書いて、学生たちに渡しました。そのサンプルとは、小説を書くまえに作るプロットだったんですが、そのプロットを学生に渡した結果、僕と中田さんの書きかたが違うことが分かりました。僕は登場人物の事はあまり書かず、シーンの展開をメインに書いている。中村さんは、まず登場人物の性格を細かく考えて、それを中心にプロットを作るのが好きなんですよ。この二人の書きかたが物語ソフトにも活かされていますね。」

物語ソフトの機能は大きく分けて三つあります。

- ① あらすじを短くまとめる機能
- ② 登場人物のデータベースを作る機能
- ③ 具体的な「シーン」を並べて保存する機能

中村さんと中田さんは このソフトを利用して、二人でいっしょに「僕は小説が書けない」という小説を書きました。二人でいっしょに作業をしていたことと、ソフトで作った あらすじがしっかりしていたため、スムーズに進んだと言います。とはいえ、話をふくらませるためには、人間の想像力が まだまだ大事です。



中村さん(左)、中田さん(右)

参考 : <http://ddnavi.com> (2014)